

◆まちづくり地域優良事例集◆

飽田まちづくりセンター

ながなすコンサート

〈取り組みの内容〉

「ながなすコンサート」は飽田奏楽ネットワーク(代表：横溝氏)主催で実施する、出演者も裏方を担う手作りのコンサートです。音楽を通じて参加者の交流を深めるとともに、飽田地域の文化や人材を再発見することを目的に、今年度で22回目の開催となりました。(コロナ禍の影響で2年間中止したものの、令和4年度は3年ぶりの開催となりました。)

当イベントは飽田公民館のホールにて行われ、小学生からお年寄りまで例年多数の演者が参加しています。また、参加するグループには、必ず1人は飽田地域の住民や、飽田に関係のある方が入っています。観客の方は耳馴染みのある曲が流れると、ロずさんだり、手拍子をしたりと、会場が一体となって盛り上がる様子が見られます。過去にはロビーで公民館講座の受講生や地域の方々による作品展示、野菜などを販売する「母ちゃん市場」も行ってきました。

〈取り組みの仲間集め〉

ステージに立つ演者は、当日の演奏だけでなく事前の会議や当日の裏方まで全員で役割を分担し、コンサートを作り上げています。また飽田まちづくりセンター(飽田公民館)の方にも企画運営をサポートしていただき、皆が関わることで愛着や責任感が湧き、「自分たちのコンサート」という意識につながっていると思います。一部の人だけが頑張るのではなく、ゆるい感じで多くの人が関わるのが大事だと考えています。

〈取り組みを始めようと思ったきっかけ〉

始まりは、飽田公民館で行われている各種講座の発表の場づくりでした。地域の住民が有志で「飽田奏楽ネットワーク」を結成し、飽田まちづくりセンター(飽田公民館)のサポートを受けながらコンサートの企画・運営を行い、現在に至ります。



〈取り組みの意図〉

今年度で22回開催した「ながなすコンサート」ですが、始めた頃は2〜3回続けばいいかなと軽い気持ちでした。それが今では地域になくってはならない行事になっています。

飽田地域の小中学校の児童生徒たちが当日の運営に携わったり、バンドに参加したりすることもありました。コンサートを通して、世代間交流ができる場にもなると思います。出演者と観客が一体となった地域のチカラで盛り上げて、地域を活性化したいと考えています。私(横溝氏)も第3回目の開催から参加し、毎回出演しています。

〈今後の展望〉

多い時は400名程来られていましたが、コロナ禍で2年中止。今年度は開催できましたが、プログラムをコンパクトに縮小して行いました。今後は、以前に負けないうくらい交流を増やしていきたいです。また、周囲の子ども達にも企画運営に参加してもらい、一緒に「ものづくり」をすることで、世代間交流も広げられたらと考えています。